

自転車男子3000^{キロ}個人追い抜き
全国高校選抜 全国高校総体 2冠

松田奏太郎 選手(17)＝松山学院高2年



男子3000^{キロ}個人追い抜きで全国高校選抜と全国高校総体で2冠を果たした松田奏太郎(松山学院高)＝2025年8月、鳥取県倉吉市

「3分20秒を切る」。主戦場の3000^{キロ}個人追い抜きで、高い目標を立てて



ペダルをこぎ続けた1年だ。大会後は日本代表として目標には約3秒届かなかったが、高い設定は好結果を生んだ。3月福岡県であった全国高校選抜大会で優勝。2年生ながら追われる立場となった8月の全国総体でも制し、春夏連続の1位し、高校の仲間と競い合っ

た。ペダルをこぎ続けた1年だ。大会後は日本代表として

世界ジュニア選手権も経験。「世界との差はまだあった」と振り返り、2022

全国高校総体自転車
男子ポイントレース優勝

井上 悠喜 選手(17)＝松山学院高2年



全国高校総体男子ポイントレースで優勝し喜ぶ井上悠喜(松山学院高)＝2025年8月、鳥取県倉吉市

「先輩たちが築いてきた学校対抗の総合連覇は引き継ぎたい」。その一心で昨夏



の全国高校総体に臨んだ。ロードレースなど長距離が得意。春の全国高校選抜では振るわず、巻き返しを期した。実績から他県の選手に注目が集まる20^{キロ}ポイントレース。「少しでも上位に入り得点を稼ぐ」と得意の後半勝負で挑み、頂点をつかんだ。翌日のロードレースでも終盤のスパイクで3位に食い込み、総合8連覇に貢献した。新チームでは主将の重責を担う。頂点を再度目指すため、自身とチームの力をさらに高める努力の日々を続けている。